

事務事業実績測定調査

事務事業名称	障害者医療費助成事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	市民生活部				課	医療助成課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち											
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1974(S49)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市重度障害者の医療費の助成に関する条例、枚方市重度障害者の医療費の助成に関する条例施行規則				
関係補助金名称	大阪府市町村重度障がい者医療費助成事業費補助金交付要綱			サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	重度の障害がある市民(所得制限あり)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	医療機関を受診する必要があるにもかかわらず、経済的な負担を考え受診に消極的になる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	経済的負担による不安なく、必要な時に医療機関を受診し必要な治療を受けることができる。				
事業概要	対象者に医療証を交付する。医療証を医療機関に提示することで、窓口負担が軽減される。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		経済的負担による不安なく、必要な時に医療機関を受診し必要な治療を受けることができる。				医療証を交付する。(障害者医療)				医療証交付申請を受理する。(障害者医療)			
指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	1人あたりの受診件数(年平均)				対象者数				交付申請受理件数				
指標設定	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	27	27	27	27	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900
	実績	28				6,917				6,917			
	達成度	96%				100%				100%			
分析	新型コロナウイルス感染症の影響が少なく、想定範囲内であった。				想定通りであった。				想定通りであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.36
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	13,517	16,034	15,950	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,343	2,657	730	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	15,860	18,691	16,680	
	物件費計	920,022	1,012,660	965,294	1,096,897	88%
	歳出計	935,882	1,031,351	981,974		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	392,586	436,860	414,576	548,183	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	101,694	179,661	169,511	96,115	
	歳入計	494,280	616,521	584,087	644,298	
	一般財源	441,602	414,830	381,207	452,599	

5. 総括的分析

総括的分析	対象者数は若干増加しており、基礎疾患を有する方が多いため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響はなかった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	現行制度を維持し、重度障害者に対する医療費負担の軽減を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	老人医療一部負担金相当額等一部助成事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	市民生活部				課	医療助成課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		10.障害者が自立し、社会参加ができるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1983(S58)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市老人の医療費の助成に関する条例、枚方市老人の医療費の助成に関する条例施行規則				
関係補助金名称			サンセット	~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	65歳以上で、感染症法(結核)・障害者自立支援医療(精神通院)・指定難病(旧特定疾病)の各制度を利用する市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	医療機関を受診する必要があるにもかかわらず、経済的な負担を考え受診の機会を失い、重症化を招く可能性がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	経済的負担による不安なく、必要な時に医療機関を受診し必要な治療を受けることができる。				
事業概要	対象者に医療証を交付する。医療証を医療機関等に提示することで、窓口負担が軽減される。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	経済的負担による不安なく、必要な時に医療機関を受診し必要な治療を受けることができる。	医療証を交付する。(老人医療)	医療証交付申請を受理する。(老人医療)	
指標設定	指標説明	1人あたりの受診件数(年平均)	対象者数	交付申請受理件数
	指標種類	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標
	指標数値	単位 件	単位 人	単位 件
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	38 0 0 0	1,400 0 0 0	1,400 0 0 0
	達成度	37	1,370	0
	分析	103%	102%	200%
想定通りであった。	想定通りであった。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、申請不要の自動更新とし、受理したものは無かった。		

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.39
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人員費	正職員、再任用、任期付	5,963	8,017	9,969	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,610	630	813	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
	人員費計	8,573	8,647	10,782		
	物件費計	222,936	137,674	116,587	131,608	89%
	歳出計	231,509	146,321	127,369		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	123,219	57,819	47,713	65,635	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	49,844	25,177	23,131	15,910	
	歳入計	173,063	82,996	70,844	81,545	
	一般財源	58,446	63,325	45,743	50,063	

5. 総括的分析

総括的分析	平成29年度に制度が終了し、令和2年度まで経過措置による運用で新規申請は受け付けておらず、対象者は減少するのみとなった。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を鑑み、令和2年度の年次更新作業を申請不要の自動更新で行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	今後発生する過年度分の請求について、適正に助成事務を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	未熟児養育医療給付事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	市民生活部				課	医療助成課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち											
	実行計画名		14-1.母子の健康づくりの推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業				区分	非選択的事務事業				
事業期間	2012(H24)年度			年度	～			年度まで				
根拠法令等	母子保健法、母子保健法施行令、枚方市養育医療に関する規則、枚方市養育医療に関する要綱											
関係補助金名称							サンセット	～				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	種々の未熟性により家庭保育が困難で入院治療を必要とする未熟児										
	サブターゲット	種々の未熟性により家庭保育が困難で入院治療を必要とする未熟児の父母										
	ターゲットが抱える課題	種々の未熟性により生活力が特に薄弱であり、入院治療を受けなければ成長が困難となる。										
	ターゲットが抱える課題	出産直後から種々の治療が必要となり、医療費の負担が大きくなる。										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	未熟児は養育に必要な医療を受け、未熟性をなくし健康に成長する。また、その医療費負担について不安なく受診することができる。											
事業概要	対象者に申請により「養育医療券」を発行する。養育医療券を指定医療機関に提示することで、未熟児に対する診療費の負担が軽減される。											

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						養育医療券を提示して受診する。				養育医療券を交付する。			
指標説明						1件あたりの助成金額(年間)				養育医療券交付人数			
		単位				単位				単位			
指標種類						増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					201,200	201,200	201,200	201,200	103	103	103	103
	実績					113,507				56			
達成度						56%				146%			
分析						想定より少なかったが、昨年度(112,855円)と同程度であった。				想定より申請数が少なかった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,988	2,405	2,393		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,988	2,405	2,393		
	物件費計	29,088	26,290	26,504	59,724	44%	
	歳出計	31,076	28,695	28,897			
歳入	国庫支出金	15,414	20,292	17,262	21,578		
	府支出金	5,032	4,165	2,958	10,788		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	2,764	4,219	2,697	4,551		
	歳入計	23,210	28,676	22,917	36,917		
	一般財源	7,866	19	3,587	22,807		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響で出生件数が減少したことにより、未熟児の件数も減少したと考えられる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	現行制度を維持し、未熟児に対する医療費負担の軽減を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	子ども医療費助成事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	市民生活部				課	医療助成課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち												
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち												
	実行計画名	15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1983(S58)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市子ども医療費の助成に関する条例、枚方市子ども医療費の助成に関する条例施行規則				
関係補助金名称	大阪府市町村乳幼児医療費助成事業費補助金交付要綱			サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	中学校3年生までの児童を養育する保護者			
	サブターゲット	中学校3年生までの児童			
	ターゲットが抱える課題	医療機関の受診機会が多い年代であり、度々医療費が必要であるため、経済的負担が増える。			
	ターゲットが抱える課題	医療機関を受診する必要があるがあっても、経済的負担を考えて受診に消極的になる。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	医療機関の受診機会が多い年代であるが、経済的負担による不安がなく、必要な時に必要な医療を受け、早期治癒を図ることができる。				
事業概要	対象者に医療証を交付する。医療証を医療機関等に提示することで、自己負担が軽減される。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	経済的負担による不安なく、必要な時に医療機関を受診し、早期治癒を図ることができる。	医療証を交付する。(子ども医療)	医療証交付申請を受理する。(子ども医療)	
指標設定	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	1人あたりの受診件数(年平均)	対象者数	交付申請受理件数	
	単位	件	人	件
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標(見込み)	13 13 13 13	50,300 50,300 50,300 50,300	2,800 2,800 2,800 2,800
	実績	10	49,082	3,382
達成度	123%		98%	121%
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、想定より少なくなった。	想定通りであった。	転入など出生以外の増加もあったため、想定より多かった。	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.95
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	15,902	16,034	17,146		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,697	212	2,467		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	18,599	16,246	19,613		
	物件費計	1,348,881	1,400,715	1,068,393	1,305,920	82%	
	歳出計	1,367,480	1,416,961	1,088,006			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	194,060	192,329	155,828	203,745		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	10,828	9,894	6,801	8,269		
	歳入計	204,888	202,223	162,629	212,014		
	一般財源	1,162,592	1,214,738	905,764	1,093,906		

5. 総括的分析

総括的分析	各指標は概ね想定通りであったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による受診控えのため、受診回数は減少した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	現行制度を維持し、子どもの医療費にかかる経済的支援を行う。なお、高校生世代までの対象拡大については、国・府への制度の創設や補助金の増額の要望を行うとともに、市としても財源の確保に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	小児慢性特定疾病医療費給付事業											
測定年度	2020 (R2) 年度			部	市民生活部			課	医療助成課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業	
事業期間	2014 (H26) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	児童福祉法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	小児慢性特定疾病にかかっている児童等の保護者				
	サブターゲット	小児慢性特定疾病にかかっている児童等				
	ターゲットが抱える課題	小児慢性特定疾病にかかっていることにより、療養のため多額の費用を要する。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	療養費の負担が軽減され、必要な医療を受けることができる。					
事業概要	① 支払事務・・・医療機関への医療費を支払う。 ② 償還払い ③ 国庫補助金の交付申請・事業実績報告等					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						医療費の助成を行う。				対象者が医療機関を受診する。			
指標設定	指標説明					1件あたりの給付額				給付件数			
	指標種類	単位				単位 円				単位 件			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					21,700	21,700	21,700	21,700	7,600	7,600	7,600	7,600
	達成度					123%				106%			
	分析					新型コロナウイルス感染症の影響により、想定より少なくなった。				新型コロナウイルス感染症の影響により、想定より少なくなった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,771	2,405	2,393		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,771	2,405	2,393		
	物件費計	148,616	143,480	122,882	157,575	78%	
	歳出計	153,387	145,885	125,275			
歳入	国庫支出金	69,727	76,777	72,882	76,869		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	69,727	76,777	72,882	76,869		
一般財源		83,660	69,108	50,000	80,706		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により受診回数が減少したとみられ、想定より少なくなった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	現行制度を維持し、小児慢性特定疾病に罹患した子どもがいる家庭の経済的負担の軽減を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	心臓病児手術見舞金給付事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	市民生活部				課	医療助成課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1972(S47)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市心臓病児手術見舞金給付規則				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	心臓病に罹患した子の保護者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	心臓病は早期治療が望ましいが、手術費用が高額であり経済的負担が大きい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	児童が心臓病に罹患した場合、その医療費による経済的負担が軽減される。				
事業概要	18歳未満の児童が心臓病手術を受けた場合、1回限り25,000円の見舞金を給付。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	手術費用に係る経済的負担が軽減される。	見舞金を給付する。				見舞金の申請を受理する。								
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	年間給付額 【算出式:1件当たりの給付額×給付件数】				給付件数				申請件数					
	単位 千円				単位 件				単位 件					
	指標種類 増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		500	500	500	500	20	20	20	20	20	20	20	20
	実績		100				4				4			
達成度		20%				180%				180%				
分析		想定より少ないが、昨年度(100,000円)と同金額であった。				想定より少ないが、昨年度(4件)と同件数であった。				想定より少ないが、昨年度(4件)と同件数であった。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	795	401	399	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	795	401	399	
	物件費計	200	100	100	500	20%
	歳出計	995	501	499		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	995	501	100	500	

5. 総括的分析

総括的分析	申請に基づき、適切に給付した。
-------	-----------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	現行制度を維持し、心臓病児に対する医療費負担の軽減を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	多子世帯医療費助成事業						
測定年度	2020 (R2) 年度		部	市民生活部		課	医療助成課
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち					
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち					
	実行計画名	15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり					

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2018 (H30) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市子ども医療費の助成に関する条例施行規則、枚方市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例施行規則				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	子ども医療・ひとり親家庭医療の受給者が複数いる家庭の保護者			
	サブターゲット	子ども医療・ひとり親家庭医療の受給者が複数いる家庭の児童			
	ターゲットが抱える課題	一家庭に複数の児童がいる場合、一人が罹患すると他の児童も時期を前後して罹患することが多く、その家庭単位でみると医療費負担が必要となる時期が長期化したり、同時期に多額の負担が必要となる。			
	ターゲットが抱える課題	親子で同時期に罹患した場合、医療費の経済的負担を考え、子どもは受診させても親は受診を後回しするなどし、重症化・長期化を招く。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	同じ時期に一家庭の複数人が罹患した場合でも、医療費の負担が一人分程度に抑えられ、適切な時期に治療することができる。				
事業概要	世帯内の子ども医療およびひとり親家庭医療対象者の同月内の自己負担の合算が2,500円を超えるものを、医療費助成状況で集計を行い、自動で、登録口座への振り込みにより償還している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	多額の費用負担が軽減され、適切な時期の治療につながる。				対象者に医療費を償還する。(子ども医療)				医療費助成状況の集計により対象者を把握する。(子ども医療)			
指標設定	指標説明 1世帯あたりの世帯合算助成率(月2,500円を超えたものを助成した件数) 【算定式:世帯合算助成件数÷(子ども医療多子世帯数+ひとり親世帯数)×100】				助成金額				助成対象件数			
	単位 %				単位 円				単位 件			
	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	指標数値 目標(見込み) 6 6 6 6 実績 4				9,182,000 9,182,000 9,182,000 9,182,000				9,800 9,800 9,800 9,800			
	達成度 133%				132%				130%			
分析 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で想定より少なかった。 【助成延べ件数9076件÷(子ども多子世帯延べ数187392+ひとり親世帯延べ数36372)×100】				新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で想定より少なかった。				新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で想定より少なかった。				
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	多額の費用負担が軽減され、適切な時期の治療につながる。				対象者に医療費を償還する。(ひとり親家庭医療)				医療費助成状況の集計により対象者を把握する。(ひとり親家庭医療)			
指標設定②	指標説明 1世帯あたりの世帯合算助成率(月2,500円を超えたものを助成した件数) 【算定式:世帯合算助成件数÷(子ども医療多子世帯数+ひとり親世帯数)×100】				助成金額				助成件数			
	単位 %				単位 円				単位 件			
	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	指標数値 目標(見込み) 6 6 6 6 実績 4				1,943,000 1,943,000 1,943,000 1,943,000				2,000 2,000 2,000 2,000			
	達成度				95%				92%			
分析 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で想定より少なかった。 【助成延べ件数9076件÷(子ども多子世帯延べ数187392+ひとり親世帯延べ数36372)×100】				想定通りであった。				想定通りであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,385	3,207	3,190		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	2,385	3,207	3,190		
	物件費計	17,088	14,458	8,300	9,992	83%	
	歳出計	19,473	17,665	11,490			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		19,473	17,665	8,300	9,992		

5. 総括的分析

総括的分析 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による受診控えのため、想定より少なくなった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	本市独自の制度として、現行制度を維持し、多子世帯の経済的負担の軽減を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ひとり親家庭医療費助成事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	市民生活部				課	医療助成課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名	15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1980(S55)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例、枚方市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例施行規則				
関係補助金名称	大阪府市町村ひとり親家庭医療費助成事業費補助金交付要綱			サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	高校3年生までの児童を養育するひとり親家庭の親・養育者(所得制限あり)			
	サブターゲット	ひとり親家庭の高校3年生までの児童			
	ターゲットが抱える課題	何らかの疾病に罹患しても、経済的負担を考え、医療機関の受診に消極的になる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	何らかの疾病に罹患した場合、経済的負担が軽減されており、適切な時期に医療機関を受診し治療することができる。				
事業概要	ひとり親家庭で児童扶養手当の所得制限を満たすものに医療証を発行する。医療証を医療機関等に提示することで、自己負担が軽減される。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		経済的負担が軽減され、適切な時期に医療機関を受診し治療することができる。				医療証を交付する。(ひとり親家庭医療)				医療証交付申請を受理する。(ひとり親家庭医療)			
指標設定	指標説明	1人あたりの受診件数(年平均)				対象者数				交付申請受理件数			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	12	12	12	12	8,100	8,100	8,100	8,100	4,000	4,000	4,000	4,000
	実績	11				7,423				3,031			
	達成度	108%				108%				124%			
	分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、想定よりやや少なくなった。				想定範囲内であった。				想定範囲内であった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.55
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	12,324	14,431	14,355		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,495	1,781	1,131		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	13,819	16,212	15,486		
	物件費計	250,027	265,049	276,682	324,005	85%	
	歳出計	263,846	281,261	292,168			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	120,692	126,096	116,035	142,378		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	10,838	12,295	12,240	8,510		
	歳入計	131,530	138,391	128,275	150,888		
	一般財源	132,316	142,870	148,407	173,117		

5. 総括的分析

総括的分析	対象者数等は想定内であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による受診控えのため、受診回数は減少した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	現行制度を維持し、今後も本市独自の多子世帯医療費助成を含め、ひとり親家庭の経済的な支援を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	医療助成課運営事務											
測定年度	2020(R2)年度			部	市民生活部			課	医療助成課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外									
	施策目標		99.施策体系外									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	不明			年度	~		年度まで					
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット	~				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	課職員										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営を円滑に行う。											
事業概要	課の運営事務											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)			
指標設定	指標説明														
	指標種類	単位					単位					単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		目標 (見込み)													
	実績														
	達成度														
分析															

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	24,648	20,443	23,925		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	24,648	20,443	23,925		
	物件費計	43,376	33,991	26,461	26,587	100%	
	歳出計	68,024	54,434	50,386			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		68,024	54,434	26,461	26,587		

5. 総括的分析

総括的分析	各種業務が円滑に行えるよう、予算要求事務、消耗品等の購入、システム保守、その他庶務など各種事務を適正に行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、効率化を図りながら各種事務を適正に行っていく。